

E-GAIA



CONTENTS

いしかわ環境フェア2024

第2回土曜環境サロンinエコハウス

第3回土曜環境サロンinエコハウス

第1回エコクッキング

いしかわ自然学校NEWS

夕日寺健民自然園里山便り

夕日寺里山体験プログラムのご案内

環境コラム

を開催しました。また、「いしかわの環境保全事業に」とご寄附をいただいたイオンベーカーリー株式会社様に感謝状を贈呈しました。

いしかわ環境フェア

「脱炭素・CO2削減」「循環・リサイクル」「環境保全」「エコリビング」「エコライフ・エシカル消費」の5つのゾーンに分け、わかりやすい、回遊しやすいブース配置としました。

展示内容では、会員・企業がそれぞれの取り組みをアピールしたほか、新たに、いしかわ結婚・子育て支援財団が出展した「育児用品リサイクルショップ」に親子連れが集まりました。

体験ゾーンでは、鋳物づくり体験や環境に関する科学実験、押花のリースコースターづくりなどのほか、行動するエシカル消費を体感できる「キッズフリマ」や「環境すごろく」も人気となりました。



能登半島復興応援コーナー



にぎわい会場



エシカル消費を体感するキッズフリマ



省エネ創エネ設備の展示



EV車展示試乗コーナー



子どもたちに人気のザリガニ釣り

いしかわ近未来の環境技術展

ソーラーカーポートや太陽光・蓄電池など、最新の省エネ・創エネ設備の展示のほか、オリジナルゲームアプリやエコスクールなど工夫を凝らした体験企画も多く見られました。

また、自分で水素を発生させて乗り物等を動かす「水素キッズパーク」が、今回も子供たちの人気を博したほか、国内3社、海外2社の協力を得て最新の電気自動車、燃料電池自動車の展示・試乗を行いました。

いしかわの里山里海展

「里山里海クイズラリー」は、チェックポイントを各所に設け、会場全体の回遊性を高めたほか、景品のジビエ肉や能登棚田米など里山里海の恵みも人気を博し、抽選コーナーには行列ができました。

例年好評の「ふるさとの匠」による体験教室はもちろん、各出展ブースでも、見て、触れて、感じる、体験型の展示手法が多く見られ、いしか

わの里山里海の大切さをアピールできました。

最後にご来場・ご出展いただいた皆様にご場をお借りしてお礼申し上げます。

今後、いしかわの豊かな自然・環境をより身近に感じていただけるよう、イベント内容に工夫を凝らしてまいります。



能登の里山里海LIFEすごろく

いしかわ環境フェア2024

主催：(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議
 後援：石川県、環境省中部地方環境事務所、北國新聞社

出展者数	内容
いしかわ環境フェア	48 (展示・体験・物販)
いしかわ近未来の環境技術展	25 (展示・体験・物販)
いしかわの里山里海展	30 (展示・体験・物販)
屋外展示ゾーン	5 (EV・PHV車展示&試乗他)
飲食ゾーン	13 (キッチンカー他)
計	120団体

テーマ：みんなで!! ストップ温暖化
 「デコ活」～カーボンニュートラルにつながる新しい豊かな暮らしへ～

開催日時：令和6年8月24日(土)・25日(日)9:30～16:30

開催場所：石川県産業展示館4号館全フロア、
 屋外展示場

来場者数：9,000人(2日間)

2024年度 土曜環境サロン

土曜環境サロンは、環境に興味のある方、どなたでも参加でき、気軽に情報交換できる場です。

第2回 『今こそ知りたい!わたしたちの暮らしと電気』 inエコハウス 令和6年11月

【話題提供】中里 茂 (環境カウンセラー、石川県地球温暖化防止活動推進員)

～電気を知って、賢く省エネライフ～

地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出は、家庭においては電気によるものが最も多くなります。とはいえ、現代の生活で電気はなくてはならないもの。これからの脱炭素への取り組みや電気料金の高騰等を考えると、節電への取り組みは避けられません。また、防災の観点からも電気は重要な要素です。

そのためにも、電気のことをよりよく知って、日々の暮らしの中で電気製品の使い方を見直し工夫する。そんなきっかけになるべく、分かりやすく暮らしと電気について学ぶ機会としました。

4月にリニューアルした「いしかわエコハウス」の見学も実施しました。



中里 茂 氏



少人数でテーブルを囲んで



自由に意見交換



温度差発電のモデル

<参加者の感想>

- ◇すべてが勉強で新鮮に学ぶことができました。普段の生活で意識しながら脱炭素の生活を目標したいと思いました。
- ◇平常の電気の使い方を見直したくて参加させていただきました。日々、地球温暖化の深刻さを感じています。将来の子どもたちのためにも、将来の地球のためにも、少しずつ、微力ながら・・・!
- ◇大変勉強になりました。我が家でも15年動いてくれるテレビがあるので、買い替えを検討したいです。中学校のPTA会長をしているのですが、中学校でもお話いただくと良いと感じました。
- ◇今回のお話は、私にもわかりやすく地球の温暖化、二酸化炭素排出、火力発電に頼っていることなど、改めて学びました。ZEHという言葉すら知りませんでした。世の中の新しい取り組み、節電の知識と意識、もっとも地球のために学ばないと!エコハウス見学もすごい目からうろこでした。従来の概念を変えてもらいました。

第3回 『キャンドルホルダーづくり』～冬至のキャンドルナイトに向けて～

inエコハウス 令和6年12月

【話題提供】藤田 智子 (いしかわ自然学校インストラクター)

～でんきを消して、スローな夜を～

「でんきを消して、スローな夜を」を合言葉に2003年に「大地を守る会」が呼びかけスタートした「100万人のキャンドルナイト」。夏至と冬至の夜8時から2時間、電気を消してろうそくの灯火のもと、ひとりひとりがゆっくりと考える時間を持つこと、世界中のひとと繋がる一体感を感じることを提唱するこの活動は、いまや毎年恒例となり、全国各地で様々なイベントと同時に実施されています。

電気を消して、ろうそくの灯りだけで過ごす、いつもと違う静かな時間。それは、環境、平和、震災からの復興、食生活など、ちょっと立ち止まって考える時間をくれるかもしれません。

また、ろうそくを消して電気をつけたとき、その異常な明るさを感じることもできます。地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出の大きな要因でもある電気。でも、なくてはならない電気について思いを馳せるきっかけともなる「冬至の日(12月21日)のキャンドルナイト」をエコハウスからも提案していきます。それを楽しむための「キャンドルホルダー」を自然からの恵みを材料に、楽しく作る時間となりました。

<参加者の感想>

- ◇自然物を使って緑の匂いを感じながら制作できて楽しかったです。晴れていたらもっといろんなものを集めたかったです。
- ◇木の香りがとても良く、製作している間も心身が癒されました。よい機会をありがとうございます。
- ◇親子でゆったり過ごせました。地場産はよく来ますが、エコハウスの存在は知りませんでした。
- ◇参加できて良かったです。周知をもっとしていただけたら嬉しいです。
- ◇県庁の近くにこんな森があるなんて知りませんでした。またぜひ参加したいです。
- ◇外に出て葉や木の実を集めるのが楽しかった。ものづくりの機会が貴重でした。
- ◇素敵なキャンドルが仕上がりと、とても楽しみな冬至となりそうです。
- ◇とても楽しかったです。地元のサロンで紹介したいと思います。
- ◇クリスマス気分になりました。
- ◇(こども)最近外に出て遊ぶことがなかったから久しぶりに嬉しかったです。



講師の藤田智子氏



鞍月の森で緑の素材集め



個性あふれる創作タイム



冬至の夜が楽しみです

2024年度 エコクッキング

エコクッキングは「地球にやさしい食生活」を実践するものです。食材の選び方と買い物から、調理方法あとかたづけまで、環境への負担を少なくすることを実践しながら学んでいきます。家庭のキッチンや食卓が、楽しいエコライフスタートの場となる事を目指しています。

第1回「野草で利き茶」 in Cafeふう 令和6年10月

【講師】山下 優子 (いしかわ自然学校インストラクター)

～身近な野草のお茶を飲み比べ～

白山麓で週1回、木曜日だけにオープンする「カフェふう」。身近な野山で採取してきた自然の恵みや、お気に入りの素材を使ったスイーツメニュー、ゆったりした時間を提供するお店です。

野草や樹木を身近な食材として見直すことは、これからの時代の「生きる力」としても大切なこと。そして、えごま農家でもある「ゆうさん」は、えごま油を搾った残りを小麦粉の代わりに使ったスイーツを考案するなど、日々、身近な素材と向き合い、白山麓の自然の中で楽しみながらお店を営んでいます。

今回は、その一端である身近な野草を見直して、お茶として一緒に楽しむことを提案しました。



クロモジスギナ、柿の葉、クワを用意



まずは飲み比べ



グループごとにブレンドづくり



みんなでシェアします



オリジナルブレンドをcaféふう特製デザートと一緒に



山下 優子 氏

<参加者の感想>

- ◇身の回りにこんなに体に良くておいしい野草があることを発見でき、良かったです。自然は宝庫ですね。
- ◇グループでオリジナルのブレンドをするのが楽しかった。1つずつの味の組み合わせが無限で、いろいろやってみたくまりました。
- ◇スギナと柿は身近にたくさんあるので、ぜひ使いたいと思います。
- ◇クロモジは山に行ってもどれかは知らなかった。桑も最近は身近になく、昔探って食べたことを懐かしく思いながらお茶を頂きました。

いしかわ自然学校 NEWS

ゆうひでらの森あそびデー

VOL.2!

きんしん環境財団が16年前に植樹して手入れを続けていた森を、夕日寺健民自然園の新しい遊び場として活用するべく、第2回目のイベントが10月6日(日)に実施されました。今回は「葉っぱ」をテーマに、石川県シェアリングネイチャー協会の皆さんの協力のもと、ネイチャーゲームを展開。その後、絵本を読んだり、ハンモックでのんびりしたりしながら、秋の森を満喫していただきました。この企画は、第1回が6月16日(日)に実施され、第3回が2025年の1月19日(日)にも実施される予定です。ぜひ、きんしんの森に遊びにいらしてください。



今回は2025/1/19! あそびにきてね!



落ち葉の窓



いろんな葉っぱと出会います



森の図書館

イオンモール 白山自然学校

昨年度から実施されている「イオンモール白山自然学校」という企画で、いしかわ自然学校インストラクターの皆さんが活躍しています。人通りの多い賑やかな会場で「ウッドバーニング」「葉っぱで染めよう」「キャンドルホルダー」「自然素材の蚊取り線香」「野鳥と仲良く♪バードフィーター」「いしころあそび」などのクラフト系プログラムが展開され、200名以上の方に楽しんでいただきました。また、館内の植栽でネイチャーゲームの「カモフラージュ」に挑戦するという画期的な取り組みも。



2025年5月 開講予定!

いしかわ自然学校 インストラクター スクール

詳細は
随時HPを
ご覧ください



夕日寺健民自然園里山便り

「新年のご挨拶〜令和6年を振り返る〜」

石川県夕日寺健民自然園
園長 徳山 芳文

令和6年の秋は、遅くまで暖かく、そのあと急に冷え込むなど寒暖差が大きかったためか、真っ赤に紅葉する木が少ない自然園とその周辺は、これまでになかった位にオレンジ色や黄色の黄葉のコントラストが美しく印象的でした。

この里山便りの年2回の寄稿については、毎回のように話題に窮している由。今回も何を書けばよいのやらと題材を探していた折に、年末恒例の門松づくりを活動団体さんをお願いする段となり、改めて飾りを使う縁起の良い植物が無いかを検索していたところ、皆さんも存じの「万両」「千両」「百両」「カラタチバナ」「十両」「ヤブコウジ」「二両」(アリドウシ)の他に、ウエブサイトを検索していたら、万両の上には「億両」があるとの掲載を見つけました。私と同じく知らなかった方のために紹介します。

「億両」とは、深山檜(ミヤマシキミ)のことだそうで、4月頃に花が咲き冬に赤い実をつける1m程度のミカン科の常緑低木とあります。ある地方では仏花や正月飾りに使われますが、檜(シキミ)とは別物とのこと。

山中の落葉広葉樹林に自生とあります。深山にあって実は万両より大きく8〜10㎝ほどで、希少性もあるために、「億両」と



(ミヤマシキミ)

呼ばれるとあったので、ちょっとした話題の提供になれば幸いです。さて、表題のサブタイトルに戻って自然園の主な出来事について振り返ります。

元日の地震では、金沢でも震度5強あったため、直ちに自然園施設の被害調査を行いました。幸い、複数の窓の木枠で留め具が壊れ、棚の上の物が落ち、什器が移動した程度で、重大な建物被害には至りませんでした。過日、登山道等の点検をしたところ、三王坂遊歩道の直下、化石広場(大深谷)の直上での地滑りやトンボサンクチェアリ1番池の堤に亀裂と崩落が確認されて、後日に安全対策と補強修繕が行われました。

昨年の熊の出没記録は、令和5年と比較すると約半分でした。また、出没による規制は、10月の日中に出没記録があった入山規制で、1回2週間あったのみで、全面閉園に至る事例はありませんでした。このため自然園の重要な催し「里山楽習塾」への影響もなかったため、例年になく全23回プログラムのうち、年末までに中止なく18回まで達成できました。あとは3月まで、全企画の実施を目指したいと想っています。

令和6年は、地震や大規模水害による被災により、能登地域は大変な一年となってしまいました。新しく迎える年が少しでも早く良い方向に進むように、また、地球温暖化やいまだに続いている紛争が終息し、良い未来に向かう一年となるように心より祈念しております。

夕日寺里山体験プログラムのご案内

夕日寺里山楽習塾 (全23回)

夕日寺健民自然園では多彩なプログラムを実施しています。参加についての詳細はお問合せの上お申込みください。

回数	開催日・時間	テーマ	時間・対象	定員等	参加費
15	11月 10日(日) 10:00~12:00	● 焚火だ、たき火だ落葉炊き(実施済)	・ 9:00~11:00 【受付 8:45~】	・「各プログラム」ごとに「募集期間」を設けています。 ホームページなどで事前にご確認ください。	すべて、 「有料プログラム」 (3歳未満は無料です。) 【受付】は 「里山ふるさと館」
16	23日(土祝) 9:30~12:00	◎ 錦秋の里山ガイドウォーク(実施済)	・ 9:30~12:00 【受付 9:15~】		
17	12月 1日(日) 9:30~12:00	★ 自然素材で「X'mas飾り」(実施済)	・ 10:00~12:00 【受付 9:45~】		
18	15日(日) 9:30~12:00	★ 自然素材で「正月飾り」(実施済)	○印：3歳~年長児までとその保護者 ●印：小学生以上及び大人 ◎印：小学校3年生以上及び大人 ★印：どなたでも 未就学児及び小学生が参加の場合、保護者も参加をお願いします。		
19	1月 18日(出) 10:00~12:00	○ 冬をあそぶ・親子であそぶ			
20	26日(日) 9:30~12:00	● 竹の話と竹細工(竹スキー作り)			
21	2月 9日(日) 9:30~12:00	◎ 冬の里山ガイドウォーク			
22	22日(出) 9:00~11:00	◎ 冬の里山探鳥会			
23	3月 9日(日) 9:30~12:00	◎ 鳥の巣箱作り講習会			

問合せ・申込先 夕日寺健民自然園 TEL・FAX: 076-251-7554 E-mail: furusatokan@bz04.plala.or.jp

環境コラム

「50-50」

米国メジャーリーグ大谷翔平選手がホームラン50本、盗塁50個をシーズン中に同時達成する大記録を達成しました。パワーとスピードの両方を兼ね備えた稀有な存在として日本でも大きなニュースとして伝えられました。

「50-50」という言葉は、日常会話の中では五分五分という意味で使われます。米国大統領選は投票前、どちらが勝つか五分五分でないかとの報道もありましたが、結果は存じのとおり。

米国は世界第2位の温室効果ガス排出国でありながら再びパリ協定を離脱する可能性があります。

しかしながら、気候変動という地球規模の危機に他国がどうのこうののではなく、温室効果ガスの排出をコントロールする社会の仕組みを確立すれば、後から急速に対策を講じるより痛みは一度にきません。自分にできることを着実に実行していけばよいのです。

暑さ寒さを快適な空間にするため家の改修をするか、燃費が悪く古いガソリン車から環境に優しい電気自動車を購入するか、財布の中身には限りがあるので悩ましい問題です。

そのようなとき公の機関からの補助金が活用できないか、50%まではいかなくても3割でも活用できるなら家の改修も自動車購入もできるかもしれません。

インターネットなどで調べて、改修の内容や効果、自動車の環境性能を比較してどれが良いか、「50-50」まで絞り込んだら最後は自分の決断次第。

寒い季節インフルエンザやコロナ感染症など病気になるかならないか五分五分でなく、適切な予防措置をすれば感染確率は小さくなります。日々の努力を惜しまなければ五分五分を自分の思うような確率に近づけると思う冬の二日です。

●事務局へのお問い合わせは…
〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地(いしかわエコハウス内)
TEL 076 (266) 0881 / FAX 076 (266) 0882
E-mail: info@eco-partner.net URL: http://www.eco-partner.net/